

# Color Gallery

ヘッドライン

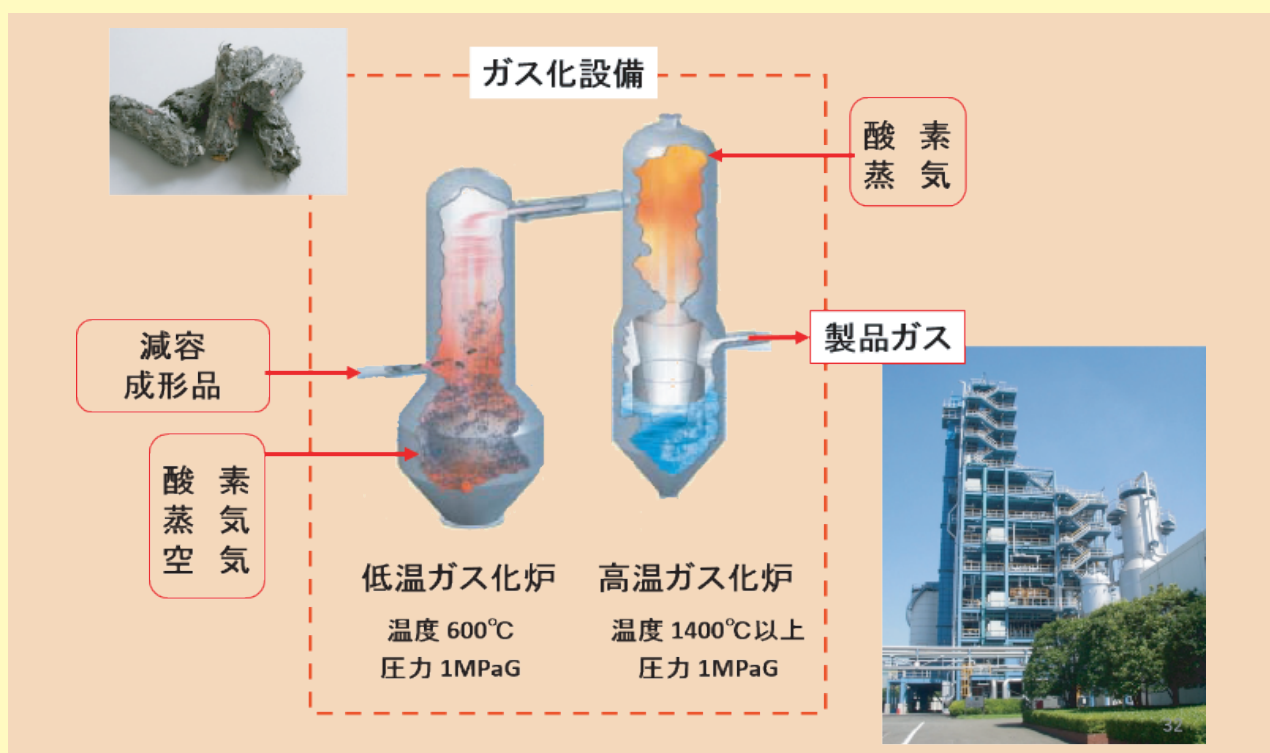
無機化学工業の現場から

## アンモニアの工業的製法

栗山常吉

### 〈廃プラアンモニア原料化〉

昭和電工・川崎事業所では廃プラスチック（廃プラ）を原料としてアンモニアを製造している。この事業は従来のナフサや都市ガスを分解して得る水素の代替として、廃プラから水素を得ている。（中略）当設備では、あらゆるプラスチックの処理が可能であるため、処理できるプラスチックのみを事前を選別する必要がない。（P531）



■KPR（川崎プラスチックリサイクル）プラント概要（P531，図2）

市町村からの廃プラは、RPF（プラスチック減容成形品）に成形してガス化炉に投入される。ガス化炉は、低温ガス化炉と高温ガス化炉から成る加圧二段式ガス化炉である。

# Color Gallery

## レーダー

### 安定同位体組成を利用した環境変動解析

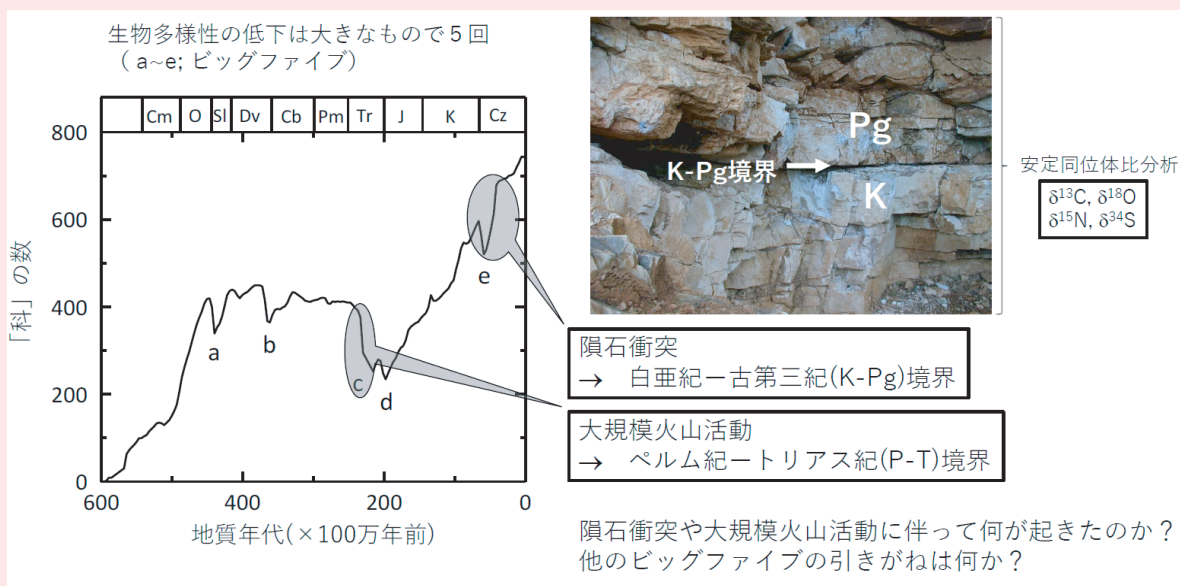
丸岡照幸

地質時代は、生物相の入れ代わりを区切りとしている。

繁栄していた生物の多くが絶滅し（大量絶滅と呼ばれている）、  
空いた生態的地位を、次の生物が埋める。

大小様々な絶滅イベントが知られているが、  
大きなものは5回知られている。

その1つである白亜紀—古第三紀[K-Pg]境界では、  
アンモナイトや恐竜などの生物が絶滅した。  
(P538 より、抜粋)



■ (P538, ストーリー図より)